

戦後政治と政党



(i) 政党と政党政治

政党 : 政治的な主張や政策観が近い人が集まって、政権の獲得を目指す集団

- ・〔¹ 〕… 多数の議席を得た政党を中心として、政権を担う政党
- ・〔² 〕… 〔1〕以外の政党で運営を監視しながら、自己の政権の獲得を目指す政党

明治時代〔³ 〕政党 … 制限選挙の下で、有力者からなる政党が政治の中心に



現代〔⁴ 〕政党 … 一般の人々に基礎を置く政党が政治の中心に

■ 政党政治の種類と特徴

種類	メリット	デメリット
二大政党制	政権交代が起こりやすい一方、強い政党は 政権を安定 させやすい	有権者の選択肢が少なく 少数者の意見が反映されにくい
多党制	有権者の選択肢が多く 多様な意見が反映 されやすい	連立政権 になりやすく 政経運営は不安定になりやすい
一党制	継続した政治が実施可能	有権者の意見が反映されにくい 抑圧的な政治 になりやすい 政治的腐敗 が起こりやすい

■ 政党の他に政治に影響を及ぼすもの

- ・〔⁵ 〕(圧力団体) … 特定の利益を実現するために、選挙以外の時期も含めて政治や行政へ働きかける集団のこと

(ex)日本経済団体連合会(経団連)、日本労働組合総連合会(連合)、日本医師会、日本遺族会など

(ii) 55年体制

■ 1955年～：55年体制

戦後の混乱期を経て、1955年から二大政党制が確立した(=55年体制)
実際は**自民党**による長期政権の始まりであった

二大政党制と言うものの、実際は自民党が社会党の約2倍の議席数を持っていたことから〔⁶ 〕**政党制**と呼ばれた

分裂していた右派と左派が合流	社会党に対抗する形で 自由党と日本民主党が合同
日本社会党	自由民主党
憲法=護憲派(憲法9条を堅持)	憲法=改憲派(自主憲法路線)

この**二大政党制**を**55年体制**と呼ぶ

実際は…

自由民主党 約300議席
日本社会党 約150議席

自民党 約300	社会党 約150
--------------------	--------------------

■ 1960年代～：多党化の時代

自民党にも社会党にも不満をもつ人々を対象に**中道政党**が誕生(公明党・民社党・新自由クラブなど)

■ 1970年代～：金権政治への不信

自民党内で有力な派閥が首相の座を巡って争う一方で、多額な政治資金が必要になり政治とカネの問題を引き起こすことに… (ex) [7] 事件(1976)、[8] 事件(1988)

■ 1993年～：55年体制の崩壊

自民党への不信感や、野党が協力して連立政権を目指す中で、1993年の衆院選で自民党が失速。

「非自民8党」の連立政権として

[9] 内閣が成立

これを機に政治改革を進める

- ・公職選挙法改正…中選挙区を廃止
- ・政治資金規正法改正…政治家個人への団体献金禁止
- ・政党助成法制定…税金を政党へ政党交付金として支出

1994年には社会党の**村山富市首相**の連立政権として、自民党が政権復帰

自由民主党

汚職事件への不信感などから
1993年の総選挙で惨敗

非自民8党連立

「反自民」の意志のもと
自民党以外の8党派が協力

1993年衆院選



■ 2000年代～：構造改革路線

バブル崩壊後の経済停滞を背景に、**行政改革**が進められる

小泉純一郎内閣(2001～06) [10] …民営化や規制緩和を軸に小さな政府への変化を目指す
代表的な政策 … [11] (これをテーマに掲げた衆院選で自民圧勝)

2007年以降は参議院で野党が多数派になる [12] →不安定な政権運営

安倍晋三・福田康夫・麻生太郎と続いた首相が1年ごとに交代し、短命な内閣が続く



自由民主党

年金問題・天下り問題や
相次ぐ首相交代で支持率低下

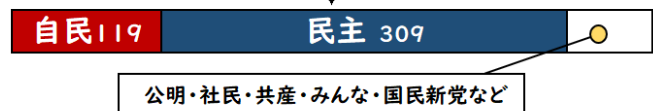
民主党

非自民の声を集め
勢力を一気に拡大

■ 2009年～：[13]

構造改革により格差拡大を招いたという批判や短命な内閣に対する不信感が募ったこともあり、2009年の衆院選で**民主党**が圧勝→**鳩山由紀夫**内閣

2009年衆院選



■ 2012年～：自公政権の復帰

民主党政権は掲げたマニフェストの実現失敗や東日本大震災原発事故への対応の批判などが続き、**鳩山由紀夫・菅直人・野田佳彦**の3代で幕を閉じることに

2012年の衆院選で民主党が惨敗し、**自民・公明**による**連立政権**が誕生 (第2次**安倍晋三**内閣)



■ 現在：一強多弱の時代が続く

復帰した第2次安倍政権は、約7年9か月の長期政権となり、安定した政権運営となった。しかし実態としては、自公政権に対抗できる野党勢力の不在が指摘されている。現在の政党の勢力図は裏へ

(iii) 現在の政党

2023年2月現在、衆議院の中心を担う政党

政党名						
党首		山口那津男	泉健太	玉木雄一郎	志位和夫	馬場伸幸
2022.7 衆議院	262	32	96	10	10	41
2022.7 参議院	123	27	39	10	11	21

※この他に、れいわ新選組・社民党・NHK党・参政党などが現在議席をもっている。

議会においては、個々の政策の実現に向けて活動している。

選挙になると〔¹⁴ 〕（政権公約）を掲げるなどして、政権の獲得を目指す

(iv) 現代政治の諸課題

■ 政治とカネの問題

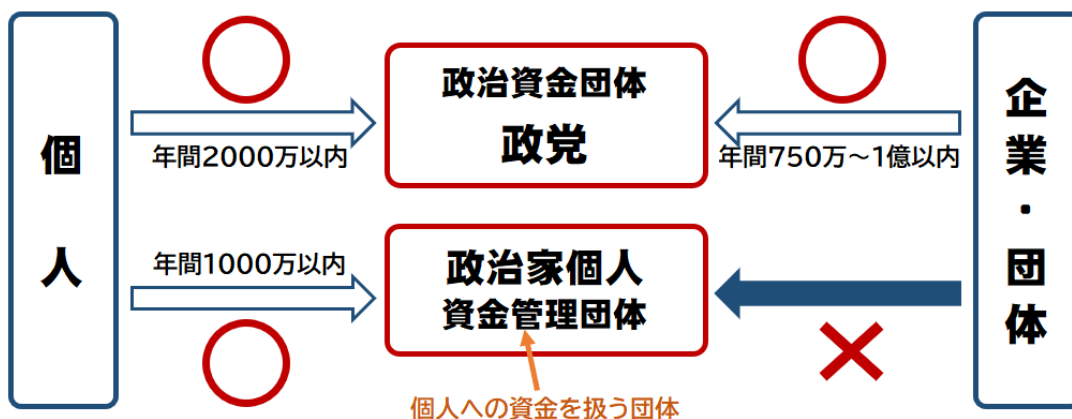
政治活動にはお金がかかる一方、党費だけではまかなえない。

→外部からの資金に依存している。⇒ 行き過ぎると「政治とカネ」の問題（賄賂や不正給付など）に繋がる

- 〔¹⁵ 〕法改正（1994）：政治献金の制限を強化
- 〔¹⁶ 〕法（1994）：政党の活動費を〔¹⁷ 〕として国から援助する。
条件 ①国会議員が5人以上 or ②直近の選挙で全国得票率2%以上

※〔¹⁵ 〕でお金の扱いを厳しくする代わりに、〔¹⁶ 〕で国から最低限の活動費を保障するようにした。

★政治資金規正法の詳細 頻出なので抑えておきましょう！

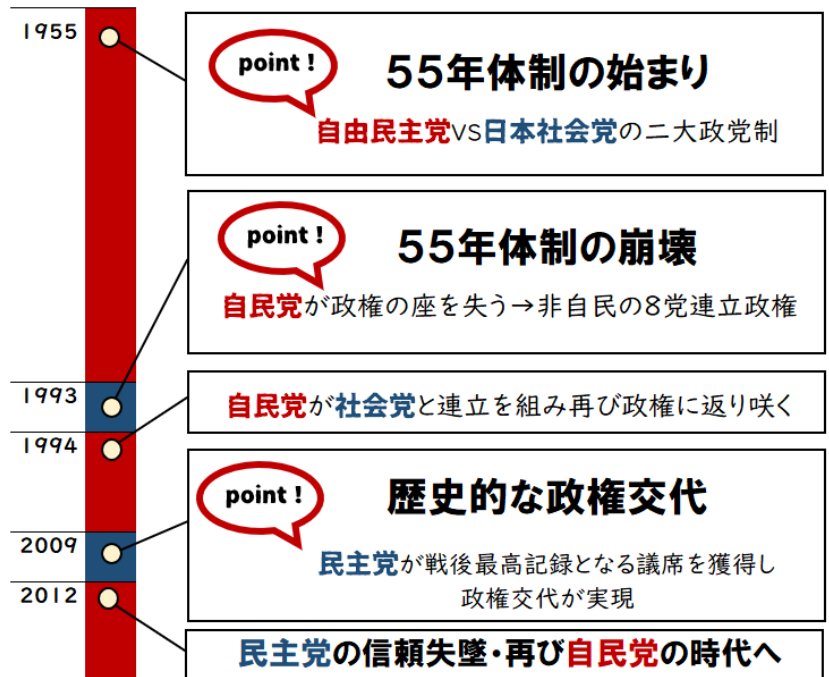


■ 政治史のポイント

右に示すように、政治史の転換点は3点だけ抑えれば問題なし！

- ① 55年体制の成立（1955）
- ② 55年体制の崩壊（1993）
- ③ 民主党による政権交代（2009）

この図からわかるように、日本政治は自民党の歴史と言っても過言ではない。安定した運営ができる一方で、不満が高まった時はそれに代わる勢力が必要になる。日本にそのような野党が生まれたとき、政治的無関心の課題も一気に解決する可能性がある。



column 📄 **ロッキード事件 ～元首相の汚職事件～（1976 発覚）**

ロッキード事件とは、アメリカの航空機製造会社「ロッキード社」が自社の航空機を採用してもらうため世界各国の政治家に賄賂を渡していた事件。当時の前首相である**田中角栄**がロッキード社から5億円の賄賂を受け取ったとされ、逮捕・起訴された。その後、田中角栄は裁判で実刑判決を受けることになる。

田中角栄は控訴したが、2審も1審を支持、最高裁での裁判中に田中角栄が死去したことにより、1993年に棄却されたが、首相経験者が実刑判決を受けることは前代未聞であった。当時間に入っていた実業家の小佐野賢治は証人喚問で「記憶にございません」を連発し、当時の流行語にもなった。

発覚当時の首相は三木武夫であったが、角栄の捜査を積極的に進める三木（反田中派）と、それを止めさせたい反田中派の自民党議員の間で衝突が起こった。さらに実際に有罪判決が下された際には野党から猛反発。これらのゴタゴタが自民党衰退の要因となった。関係者が相次いで亡くなり、謎が多く残る事件でもある。

column 📄 **リクルート事件 ～戦後最大の汚職事件～（1988 発覚）**

リクルートという会社を一度は聞いたことあるでしょう。就職関係でCM等も放送されているあの有名企業。リクルートの創始者であり、当時の社長でもあった**江副浩正**が、政治家に取り入れられて安定した地位を得るために、1984年から大物政治家や財界の有名人に対して未公開だった子会社の株をあげ始めてしまったことが事件の発端。1986年に公開されると一気に価値は高騰し、あげた人の株による利益は全部合わせて**6億円**となる金額だったそう。1988年のスクープによりこの悪事が発覚し、元首相の**中曽根康弘**、この時の首相である**竹下登**、安倍晋三の父親である**安倍晋太郎**など約100人が未公開株による利益を受けていたことが芋づる式で発覚した。この事件をきっかけに1989年、竹下登内閣は総辞職することになる。

戦後政治と政党



(i) 政党と政党政治

政党：政治的な主張や政策観が近い人が集まって、政権の獲得を目指す集団

- ・〔¹ **与党**〕… 多数の議席を得た政党を中心として、政権を担う政党
- ・〔² **野党**〕… 〔1〕以外の政党で運営を監視しながら、自己の政権の獲得を目指す政党

明治時代 〔³ **名望家**〕政党 … 制限選挙の下で、有力者からなる政党が政治の中心に



現代 〔⁴ **大衆**〕政党 … 一般の人々に基礎を置く政党が政治の中心に

■ 政党政治の種類と特徴

種類	メリット	デメリット
二大政党制	政権交代が起こりやすい一方、強い政党は 政権を安定 させやすい	有権者の選択肢が少なく 少数者の意見が反映されにくい
多党制	有権者の選択肢が多く 多様な意見が反映 されやすい	連立政権 になりやすく 政経運営は不安定になりやすい
一党制	継続した政治が実施可能	有権者の意見が反映されにくい 抑圧的な政治 になりやすい 政治的腐敗 が起こりやすい

■ 政党の他に政治に影響を及ぼすもの

- ・〔⁵ **利益集団**〕(圧力団体) … 特定の利益を実現するために、選挙以外の時期も含めて政治や行政へ働きかける集団のこと

(ex)日本経済団体連合会(経団連)、日本労働組合総連合会(連合)、日本医師会、日本遺族会など

(ii) 55年体制

■ 1955年～：55年体制

戦後の混乱期を経て、1955年から二大政党制が確立した(=55年体制)
実際は**自民党**による長期政権の始まりであった

二大政党制と言うものの、実際は自民党が社会党の約2倍の議席数を持っていたことから〔⁶ **1と1/2**〕**政党制**と呼ばれた

分裂していた右派と左派が合流

日本社会党

憲法=護憲派(憲法9条を堅持)

社会党に対抗する形で
自由党と日本民主党が合同

自由民主党

憲法=改憲派(自主憲法路線)

この**二大政党制**を**55年体制**と呼ぶ

実際は…

自由民主党 約300議席

日本社会党 約150議席

自民党
約300

社会党
約150

■ 1960年代～：多党化の時代

自民党にも社会党にも不満をもつ人々を対象に**中道政党**が誕生(公明党・民社党・新自由クラブなど)

■ 1970年代～：金権政治への不信

自民党内で有力な派閥が首相の座を巡って争う一方で、多額な政治資金が必要になり政治とカネの問題を引き起こすことに… (ex) [7 **ロッキード**] 事件(1976)、[8 **リクルート**] 事件(1988)

■ 1993年～：55年体制の崩壊

自民党への不信感や、野党が協力して連立政権を目指す中で、1993年の衆院選で自民党が失速。

「非自民8党」の連立政権として

[9 **細川護熙**] 内閣が成立

これを機に政治改革を進める

- ・公職選挙法改正…中選挙区を廃止
- ・政治資金規正法改正…政治家個人への団体献金禁止
- ・政党助成法制定…税金を政党へ政党交付金として支出

1994年には社会党の**村山富市首相**の連立政権として、自民党が政権復帰

自由民主党

汚職事件への不信感などから
1993年の総選挙で惨敗

非自民8党連立

「反自民」の意志のもと
自民党以外の8党派が協力

1993年衆院選



■ 2000年代～：構造改革路線

バブル崩壊後の経済停滞を背景に、**行政改革**が進められる

小泉純一郎内閣(2001～06) [10 **構造改革**] …民営化や規制緩和を軸に小さな政府への変化を目指す
代表的な政策 … [11 **郵政民営化**] (これをテーマに掲げた衆院選で自民圧勝)

2007年以降は参議院で野党が多数派になる [12 **ねじれ国会**] →不安定な政権運営

安倍晋三・福田康夫・麻生太郎と続いた首相が1年ごとに交代し、短命な内閣が続く



自由民主党

年金問題・天下り問題や
相次ぐ首相交代で支持率低下

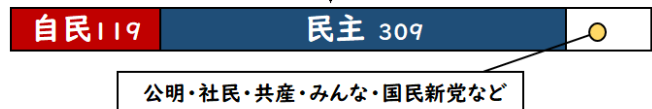
民主党

非自民の声を集め
勢力を一気に拡大

■ 2009年～：[13 **政権交代**]

構造改革により格差拡大を招いたという批判や短命な内閣に対する不信感が募ったこともあり、2009年の衆院選で**民主党**が圧勝→**鳩山由紀夫**内閣

2009年衆院選



■ 2012年～：自公政権の復帰

民主党政権は掲げたマニフェストの実現失敗や東日本大震災原発事故への対応の批判などが続き、**鳩山由紀夫・菅直人・野田佳彦**の3代で幕を閉じることに

2012年の衆院選で民主党が惨敗し、**自民・公明**による**連立政権**が誕生 (第2次**安倍晋三**内閣)




■ 現在：一強多弱の時代が続く

復帰した第2次安倍政権は、約7年9か月の長期政権となり、安定した政権運営となった。しかし実態としては、自公政権に対抗できる野党勢力の不在が指摘されている。

現在の政党の勢力図は裏へ

(iii) 現在の政党

2023年2月現在、衆議院の中心を担う政党

						
政党名	自由民主党	公明党	立憲民主党	国民民主党	日本共産党	日本維新の会
党首	岸田文雄	山口那津男	泉健太	玉木雄一郎	志位和夫	馬場伸幸
2022.7 衆議院	262	32	96	10	10	41
2022.7 参議院	123	27	39	10	11	21
	与党			野党		

※この他に、れいわ新選組・社民党・NHK党・参政党などが現在議席をもっている。

議会においては、個々の政策の実現に向けて活動している。

選挙になると〔¹⁴ マニフェスト 〕(政権公約)を掲げるなどして、政権の獲得を目指す

(iv) 現代政治の諸課題

■ 政治とカネの問題

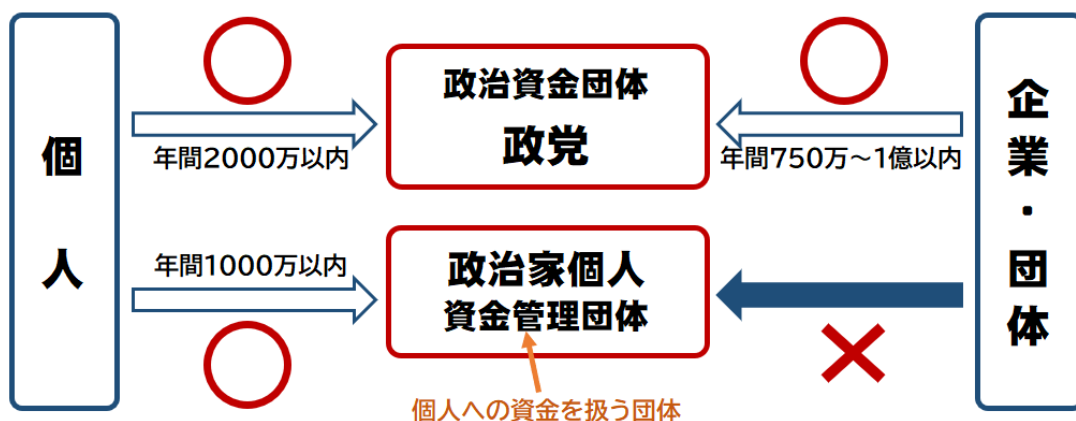
政治活動にはお金がかかる一方、党費だけではまかなえない。

→外部からの資金に依存している。⇒ 行き過ぎると「政治とカネ」の問題(賄賂や不正給付など)に繋がる

- ・〔¹⁵ 政治資金規正 〕法改正(1994):政治献金の制限を強化
- ・〔¹⁶ 政党助成 〕法(1994):政党の活動費を〔¹⁷ 政党交付金 〕として国から援助する。
条件 ①国会議員が5人以上 or ②直近の選挙で全国得票率2%以上

※〔¹⁵ 〕でお金の扱いを厳しくする代わりに、〔¹⁶ 〕で国から最低限の活動費を保障するようにした。

★政治資金規正法の詳細 頻出なので抑えておきましょう!

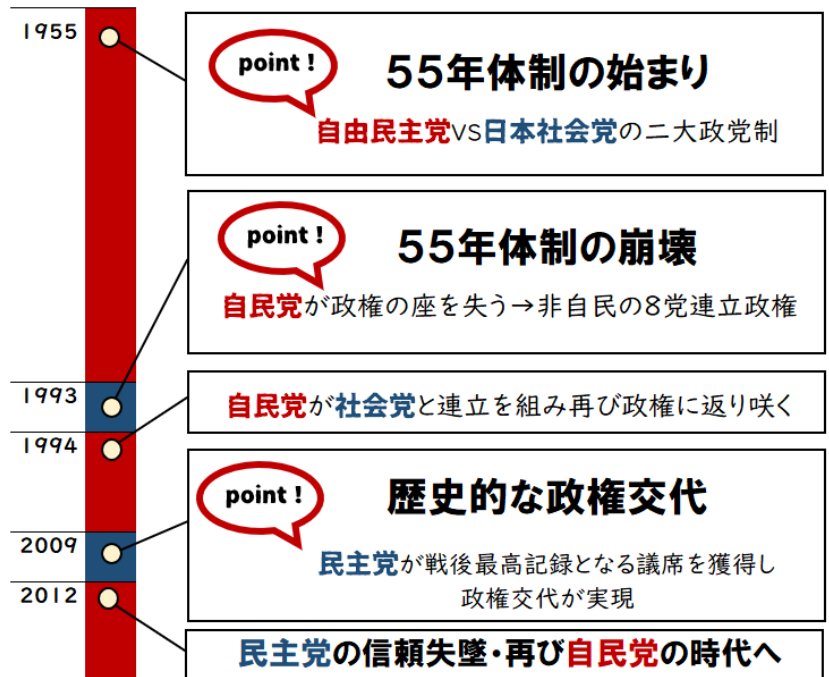


■ 政治史のポイント

右に示すように、政治史の転換点は3点だけ抑えれば問題なし！

- ① 55年体制の成立（1955）
- ② 55年体制の崩壊（1993）
- ③ 民主党による政権交代（2009）

この図からわかるように、日本政治は自民党の歴史と言っても過言ではない。安定した運営ができる一方で、不満が高まった時はそれに代わる勢力が必要になる。日本にそのような野党が生まれたとき、政治的無関心の課題も一気に解決する可能性がある。



column  **ロッキード事件 ～元首相の汚職事件～（1976 発覚）**

ロッキード事件とは、アメリカの航空機製造会社「ロッキード社」が自社の航空機を採用してもらうため世界各国の政治家に賄賂を渡していた事件。当時の前首相である**田中角栄**がロッキード社から5億円の賄賂を受け取ったとされ、逮捕・起訴された。その後、田中角栄は裁判で実刑判決を受けることになる。

田中角栄は控訴したが、2審も1審を支持、最高裁での裁判中に田中角栄が死去したことにより、1993年に棄却されたが、首相経験者が実刑判決を受けることは前代未聞であった。当時間に入っていた実業家の小佐野賢治は証人喚問で「記憶にございません」を連発し、当時の流行語にもなった。

発覚当時の首相は三木武夫であったが、角栄の捜査を積極的に進める三木（反田中派）と、それを止めさせたい反田中派の自民党議員の間で衝突が起こった。さらに実際に有罪判決が下された際には野党から猛反発。これらのゴタゴタが自民党衰退の要因となった。関係者が相次いで亡くなり、謎が多く残る事件でもある。

column  **リクルート事件 ～戦後最大の汚職事件～（1988 発覚）**

リクルートという会社を一度は聞いたことあるでしょう。就職関係でCM等も放送されているあの有名企業。リクルートの創始者であり、当時の社長でもあった**江副浩正**が、政治家に取り入れられて安定した地位を得るために、1984年から大物政治家や財界の有名人に対して未公開だった子会社の株をあげ始めてしまったことが事件の発端。1986年に公開されると一気に価値は高騰し、あげた人の株による利益は全部合わせて**6億円**となる金額だったそう。1988年のスクープによりこの悪事が発覚し、元首相の**中曽根康弘**、この時の首相である**竹下登**、安倍晋三の父親である**安倍晋太郎**など約100人が未公開株による利益を受けていたことが芋づる式で発覚した。この事件をきっかけに1989年、竹下登内閣は総辞職することになる。